

# 平成24年度 第23回関東高等学校バスケットボール新人大会

平成25年2月9日(土)

【男子】1回戦 小瀬スポーツ公園体育館 Bコート 第1試合

正智深谷 (埼玉県)	58	$\left\{ \begin{array}{l} 17 - 29 \\ 11 - 19 \\ 19 - 22 \\ 11 - 26 \end{array} \right\}$	96	京北 (東京都)

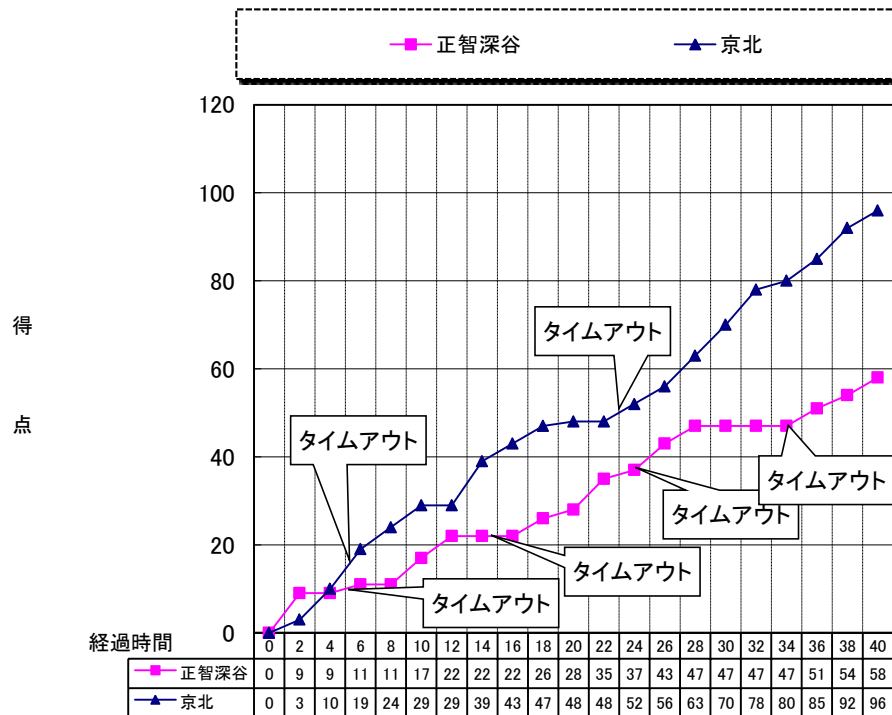
## 正智深谷

番号	氏名	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターンオーバー
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	計				
4*	青木 和希	5	0	0	2	9	1	3	4	2	5	7	4	3	0	6
5	亀山 裕樹	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
6*	亀山 和樹	10	2	10	1	6	2	2	4	0	0	0	0	1	0	5
7*	小山 司	15	0	1	6	12	3	4	4	3	7	10	2	1	0	6
8*	金井塚 優樹	6	0	5	3	5	0	0	3	1	1	2	1	2	0	3
9*	波多 智也	16	0	2	7	16	2	2	4	4	6	10	1	1	1	5
10	藤本 文洋	4	0	0	2	6	0	0	1	4	2	6	0	1	0	1
11	斉藤 弥羅															
12	飯田 絢介															
13	森 黄州															
14	奥住 将人															
15	武藤 響太															
16	大塩 堅太															
17	小飯塚 涼															
18	塚越 翔太															
HC	成田 靖/TEAM									5	5	10				1
チーム		58	2	18	22	55	8	11	20	19	26	45	8	9	2	27
*スターティングメンバー	確率		11.1%	40.0%	72.7%											

## 京北

番号	氏名	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターンオーバー
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	計				
4*	石原 卓	18	3	4	3	6	3	8	0	2	6	8	8	6	0	3
5*	新川 敬大	9	2	8	1	5	1	2	2	2	7	9	1	4	0	2
6*	川久保 駿	23	1	2	9	14	2	6	1	4	3	7	4	2	1	3
7*	吉川 治耀	22	0	1	10	19	2	6	2	1	6	7	3	0	0	0
8	吉田 亘	2	0	0	1	1	0	0	0	2	1	3	0	1	1	0
9	平岩 アンソニー/ロン	0	0	1	0	6	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1
10*	浅見 陸人	13	0	0	5	10	3	6	2	4	5	9	3	0	2	3
11	岡田 大貴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	1	0	0
12	福本 哲也	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
13	木村 詢	5	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0
14	浅香 陽光	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0
15	盛満 拓郎	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
16	小森 敬輔	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	岡部 直貴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	山内 大樹	2	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
HC	田渡 優/TEAM									2	6	8				0
チーム		96	7	17	32	65	11	28	11	18	36	54	22	17	4	15
*スターティングメンバー	確率		41.2%	49.2%	39.3%											

## 2分毎による得点の推移



## 戦評

新人戦関東大会のファーストゲームは、埼玉1位の正智と東京2位の京北との対戦であった。両チームとも、ハーフコートマンツーマンで、ゲームがスタート。速い展開を得意とするチームであるが、初戦の固さから、なかなかゲームのリズムをつかめない。個人技からの合わせなどで着実に得点を重ねる京北が17-9で抜け出すと、たまたま正智がタイムアウトをとるが、29-17で1Q終了。2Qは寄りの速いディフェンスで流れを取り戻したい正智だが、京北は④石原などの多彩な個人技で得点を重ね、48-28で京北リードで前半終了。  
後半、正智⑦小山のフリースローでゲーム再開。なかなか得点が入らない正智とは対照的に、速い展開からアウトサイドシュートで得点を重ねる京北が抜け出し、70-47で京北がゲームの主導権を握る。4Q、正智⑨波多の1対1から流れを引き寄せたい正智ではあるが、なかなかシュートが決まらず、京北はバランスよく得点を重ね、控えの選手を出す余裕を見せ、96-58で2回戦に進出を決めた。

主審	大庭英裕	第1副審	山崎雅洋	第2副審	—	記入者	三井岳人
----	------	------	------	------	---	-----	------